

## 関伝

【読み】 こう・でん

【意味】〔名〕〔「関」は村里の道の意〕

うわさをすること。また、そのうわさ。

\*随筆・北越雪譜(1836-42) 二・四 「此事関伝(コウデン)〔注〕マチノウハサ)して竟に主君の蔵となりしと語られき」

〔捕注〕「小説奇言一一」には「又忌伯虎之才関伝(〔注〕イヒフラス)主司不公」ことある。

【参照】『日本国語大辞典』 小学館